

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2010.12.27~2011.01.14

記事の詳細は、情報検索サービス『キジシク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

12月27日(月)

■帝人エンジ、脱硝システム販売
NOx規制開始/工場向け

帝人エンジニアリングは、中国で工場向け脱硝システムの事業化に乗り出す。中国で2011年から段階的に始まるNOx規制に合わせ、選択式無触媒還元法脱硝システムを中心に販売する。(11面)

■外国人向け不動産販売強化
東京建物系/香港上海銀と提携

東京建物不動産販売は、日本に居住する外国人や富裕層への不動産販売を強化するため香港上海銀行東京支店と業務提携した。同行の富裕層に、東京建物の新築マンションなどを紹介する。(13面)

12月28日(火)

■NTN、1440億円投資

中国・タイ・ルーマニアに新工場
NTNは、2011—13年度の次期中期経営計画の設備投資額を1440億円に設定し、中国やタイ、ルーマニアに工場を新設する。要素技術開発は日本と欧州、米

■鬼怒川ゴム、シール部品受注
中国向け/ＢＹＤ・フィアット

鬼怒川ゴム工業はイタリアのフィアットと中国資本系のＢＹＤから車体シール部品を受注した。いずれも中国市場向け車種用。広州市の生産子会社などで順次量産を開始する。(5面)

■椿本チエイン、中国参入
物流システム/エンジン子会社

椿本チエインは、2011年内に流通業界向け物流システムで、中国市場に参入する。来夏にも現地でエンジニアリング子会社を新設する方向で検討。仕分け搬送システムを中心に展開する。(6面)

■三菱電機、中国で生産
炭酸ガスレーザー加工機

三菱電機は、炭酸ガスレーザー加工機を2011年1月から中国で現地生産する。中国の板金加工需要の伸びに対応する。レーザー発振器などの主要部材を持ち込み、現地で組み立てる。(6面)

■天津で1000戸受注
パナソニック/エコ住宅

パナソニックは、天津市に建設中の天津生態城(エコシティ)で共同住宅向けのHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)を1000戸超規模で受注した。夏にも分譲を開始。(7面)

12月29日(水)

■中国で部品の供給能力向上
ヤマザキマザック/工作機械保守

ヤマザキマザックは、中国では上海市



ベトナム共産党大会が12日開幕。祝賀ムードが漂うハノイ市内。(ブルームバーグ)

2011年

1月1日(土)

■日産・ホンダ、増産体制
大きく立派-「ティアナ」が人気

中国で、日産は2012年度に120万台、ホンダは13年に89万台に現地生産能力を拡張。現時点で日産に勢い。「大きく立派に見える」ニーズに、日産の「ティアナ」などのデザインが合致。(6面)

■工作機械、中国に照準
「完全復活」へ/ローエンド機カギ

工作機械業界の今年のキーワードは新興市場の開拓。「完全復活」に向けた年になる。特に外需の4割を占める中国市場の攻略がカギ。これからは低価格帯(ローエンド)市場がテーマだ。(8面)

1月4日(火)

■沖電線、中国で委託生産
工作機械向け/ＯＥＭ戦略にカジ

沖電線は、中国で現地の電線メーカーと協業したOEM戦略にかじを切る。第1弾として工作機械に使う一部の機器用電線を地場企業に委託し、2011年4月にも現地生産に乗り出す。(11面)

■岩崎電気、生産を中国シフト
高輝度放電灯/大連に

岩崎電気は、各種ランプの生産体制を見直す。主力工場の埼玉製作所で生産する石英管タイプの高輝度放電灯(HID)ランプの生産を大連の大連岩崎電気

■小売業界、中国進出を本格化
コンビニ急増/ユニクロも地歩

国内小売業界による中国を中心とした海外展開が加速。百貨店、総合スーパーなど進出の老舗に加え、コンビニエンスストアも出店数が急増。ユニクロが着々と地歩を築いている。(28面)

1月5日(水)

■ショーワ、パワステ中国生産
タイ工場でも開始

ショーワは、2012年までに中国・武漢

工場で電動パワーステアリング(EPS)の生産に乗り出す。中国でのEPS生産拠点を2拠点体制とする。またタイ工場でもEPSの生産を始めた。(7面)

1月6日(木)

■メタルアロイコイル、3倍増産
東光/スマートフォン向け

東光は、スマートフォン向け需要の拡大に伴い、メタルアロイコイルの生産量を2011年までに約3倍に引き上げる。広東省の工場でラインを増設、内陸部にも工場進出を検討する。(8面)

1月7日(金)

■東郷製作所が華中に工場
車用ホースクリップ/日系向け

東郷製作所は、華中地域に工場進出する。2013年稼働。日系メーカー向けに自動車用ホースクリップや小物パネ。年間約5億円分を生産し、将来は現地資本メーカーへの供給も目指す。(5面)

■東北経済連合会、無錫に展示
4月開設/中小の技術・製品

東北経済連合会は、江蘇省無錫市の「江蘇国際技術転移センター」に東北地域企業の製品や技術を紹介する常設展示コーナーを開設する。中小企業の工業製品を中心に、4月に開設予定。(28面)

1月10日(月)

■新明和、旅客機搭乗橋で参入
中国合弁が生産/露も視野

新明和工業は、空港用設備の旅客機搭乗橋で中国に参入した。中国の合弁会社が生産。ベトナムから部品を送って組み立てる。ロシア、モンゴルの市場参入も視野に入れる。(6面)

■DIC、中国・印で集中生産
インク原料/中間工程まで一括処理

DICは、2012年に中国に印刷用インクの集中生産拠点を新設する。マザーブランドで各種インクに共通する中間工程までを一括処理し、各地の小規模拠点で仕上げる。インドでも拡充。(8面)

1月11日(火)

■南京液晶工場、春から量産
シャープ/第6世代月産6万枚

シャープは、技術供与先である南京市の液晶工場への設備導入を終えた。調整運転などを行った上で、春から量産稼働を始める。第6世代のガラス基板を採用し、月産6万枚。(7面)

1月12日(水)

■荏原、大連理工大で採用活動
グローバル人材の育成加速

荏原は、将来の海外事業を担うグローバル人材の確保・育成を加速。2011年か

ら海外で現地採用を開始。まず2月に大連理工大学で、12年4月に入社予定の新卒者の採用活動を実施する。(3面)

1月13日(木)

■パナ、サーボモーター増産
月産10万台体制/中国向け拡販

パナソニックは、サーボモーターの生産能力を月5万台から同10万台へ増強した。サーボモーターの製造拠点のパナソニックモータ珠海(広東省)に新棟を建設した。中国向けの販売を拡大。(1面)

1月14日(金)

■ハーモ、蘇州に新工場
成形機用取り出し口ボ/年600台

ハーモは、江蘇省蘇州市で成形機用取り出し口ボットの新工場を4月稼働する。現地進出の日系企業向けに中級機種を年間600台生産する。リードタイムを短縮。部品を100%現地調達。(12面)

TELOP

■中国、0.25%追加利上げ
約2カ月ぶり(時事=27日2面)■香港に駐在員事務所
マグナ(27日7面)■アパレル、F C展開
伊藤忠、中国社と提携(27日13面)■旭硝子、中国でM & A推進
北京に新会社(28日3面)■中国・タイ・米に4工場
小糸製作所(28日3面)■アドヴィックスが開発拠点
福建省には第3の生産会社(28日5面)■蘇州にファスナー工場
ミツ知、5月稼働(28日5面)■JVC・ケンウッド、中国社に勝訴
商標権侵害訴訟(29日3面)■中国の消防車両メーカー買収
モリタHD(29日4面)■山田ドビーのマシン、中国生産
台湾プレス機最大手と提携(29日5面)■住友精化、上海に販売会社
高吸水性樹脂など(29日7面)■環境ラベル認証取得
富士ゼロックス(29日7面)■自動車購入税優遇打ち切り
中国財政省(時事=30日2面)■コマツ、中国で部品再生
中型油圧ショベル(30日5面)■上海銀行に販売委託
損保ジャパン(29日11面)■日中でアニメフェス
経産省などが連絡協(4日2面)■コンビニ「おでん」人気
1日1000個(4日23面)■中国サイトに企業の情報発信
京都産業21(5日29面)

TELOP

■タイ・中国・韓国に現法
シギヤ精機(27日7面)■タイの鋼線メーカー買収
鈴木金属工業(27日9面)■次世代航空管制システム受注
住商/フィリピンから(27日13面)■シンガポールで製油所改修プロ
日揮が受注(28日6面)■竹中工務店J Vが受注
シンガポール公共施設移転(28日8面)■北九州・釜山、1日2往復
スターフライヤー(28日9面)■インド運用会社を買収
大和証、新生銀から(28日11面)■川重冷熱、東南ア開拓
吸収式冷水器(29日5面)■台湾社とライセンス契約
トランスジェンコ(29日9面)■タイの売上高10%超す伸び
プレス工業(5日7面)■日立建機、鉱山運行を受注
インドとウクライナ(5日9面)■野田テック、マレーシアに子会社
ベルトクリーナー製販(5日28面)■サムスン、投資3兆円
今年、最大規模(6日8面)■東アジアに部材調達網
キャタピラージャパン(7日7面)■日清紡、インドネシアで増産
形状安定シャツで新工場(7日11面)■アジアのV B投資で提携
三井住友海上と英社(7日17面)■丸紅建材リース、ベトナム新会社
ヒロセと/重仮設材(10日10面)■タイに新工場棟
オムロンオート(11日4面)■アジア・北米、直行便に共通運賃
JALとアメリカン航空(12日3面)■タイで生産能力倍増
クロイツ/バリ取りユニット(12日7面)■韓国の建設会社と提携
日建工学/河川整備建材(12日17面)■マレーシアの地銀と提携
みずほコが銀(12日19面)■ベトナム、共産党大会が12日開幕
2020年に工業国入り(時事=13日)■スズキ、インド部と中国部設置
4輪・2輪の営業再編(13日3面)■東芝、インドで受注
火力用タービン発電機2基(13日8面)■環境配慮型都市、印で推進
三菱重工(14日3面)■インドネシアでネット通販
楽天が今春(14日17面)■高松—上海便、料面で優位に
香川県知事(5日29面)■レアアース輸出枠で訪中
経産相、国会前に(6日2面)■大型原子炉の開発に協力検討
東芝が検討(6日8面)■東京海上、蘇州に支店
7月めど開設(7日17面)■明治安田、中国生保に出資
ハイアールと提携(10日2面)■新規株式公開が最高更新
476社(時事=10日12面)■中国の新車販売、2年連続世界一
1800万台突破(時事=11日2面)■三菱東京U F J、青島に支店
年内に開設(12日19面)■島津、上海に開発センター
分析計測機器(13日3面)■タチエス、広州第2工場稼働
シートリム輸入比率7割(13日5面)■A T M筐体、中国生産を倍増
岡部工業、深圳に新工場(13日7面)■中国・タイで技術者増員
東芝ホームアプライアンス(13日8面)

●ひと……………

「モー娘」と競演
「太極拳を習得した」と笑顔を見せる

のは、富士ソフト社長の白石晴久さん。身に付けたのは、開発した小型の人型ロボット「バルロ」。人と自然に会話でき、「上海万博で太極拳を披露し、『モーニング娘。』とも共演した」とか。「さらに人間らしいロボットに進化させる」と意気込む。(12月28日=7面)

3 Kを敬遠
安川電機の津田純嗣社長は「中国メー

カーは自動化に本気で取り組もうとしている。人件費の高騰はもとより、就労環境の改善を望む声が高まっているから遠ざかれ、作業員が定着しなくなっている」。サーボモーターなどの生産が追いつかず、設備増強を急ぐ。(1月4日=10面)

アニメも変化
I Tホールディングスは、意外にも傘

下に中国のアニメ製作会社を持つ。社長の岡本晋さんは「人件費が安く、日本向けの仕事が多い」と日本の作品を支える。最近「中国内での仕事の需要が出てきた」。中国が開発拠点から市場へと変化しつつある点で本業の情報サービス業と変わらない。(1月5日=11面)

●ひと……………

エアアジアに注目
「マレーシアのエアアジアは、羽田空

港という日本の航空需要の中心地に入るわけだから、大いに注目している」と話すのは全日本空輸社長の伊東信一郎さん。格安航空会社への参入を考えているANAにとって「ハンドリングの様子やサービスの内容など」が気になるようだ。(12月27日=13面)

インド時間に悩む
「インドの時間感覚に絶えず悩まされ

ている」と苦笑いするのは、極東開発工業社長の峯谷高明さん。4月に現地企業と特装車の合併生産会社を設立。6月に工場を着工する計画だったが約半年遅れている。「インド自動車大手のタタでも予定通り進まなかったのだから、仕方ない」とあきらめ顔。(12月28日=5面)

インド流のデザイン
インド合弁工場でトラックの生産を検討しているUDトラックス社長の竹内覚さん。

「現地での設計、生産を支援する。日本の商品をそのまま持っていくとニーズに合致しない。インド流のデザインを取り入れた上、コストを下げるために、ほぼすべての部品を現地調達する必要があるだろう」。(12月29日=4面)

夜景に興奮
「マレーシアからの大半が東京を訪れ

るのは初めて。明るい夜景にみんな興奮していた」と話す格安航空会社エアアジアXのCEOのアズラン・オスマンランさん。昨年12月に羽田—クアラルンプールに初就航。「着陸した瞬間、乗客が拍手」。3年以内に「大阪や名古屋、札幌にも」と意欲的。(1月5日=17面)

ASIA

12月27日(月)

■インドネシア・ベトナムに拠点
極東開発/特装車製造

極東開発工業は、2011年にインドネシアとベトナムに特装車の生産拠点を新設する。現地企業との合併会社を設立。また中国で立体駐車場とリサイクル施設向け設備の現地製販も始める。(6面)

■オークマ、台湾で増産
低価格の工作機械ユニット部品

オークマは台湾で低価格の工作機械のユニット部品を増産する。現在は製品換算で月産40台分だが、2011年春までに約60台分に引き上げる。台湾を低価格機の部品供給拠点にする。(7面)

12月28日(火)

■三井物産、LED参入
台湾社に出資/非資源分野を強化

三井物産は、LED事業に参入する。台湾のLEDウエハー・チップ製造販売大手フォーエビの第三者割当増資を引き受け筆頭株主になる。取得額は約76億円。非資源分野を強化する。(3面)

12月29日(水)

■パイオ燃料実証プラント完成
三井造船/マレーシア

三井造船は、マレーシアのサムダービーと進めてきたバームオイル製造工程で排出する空房を原料にしたバイオエタノール製造の実証プラントが2011年1月半ばに完成する。日産1.25トン(5面)

12月30日(木)

■中小総合展に無料招致
韓国・タイなど4国企業/連携後押し

中小企業基盤整備機構は、日本の中小企業と海外企業が連携できる機会をつくるため、中小企業総合展の80ブースに無料で開催する。韓国やタイなど4国企業が招致する。(2面)

■「上島珈琲店」台湾に1号店
海外直営、5店に

セルフカフェ「上島珈琲店」の海外1号店が台湾にオープン。台湾で2012年度

に直営店を5店舗に増やし、同業態の海外ビジネスモデルを構築。将来的には他のアジアや北米への進出も。(11面)

■韓国・済州大と複数学位
京都情報大/I C T人材育成

京都情報大学院大学は、韓国の国立済州大学校と、単位を互換しながら双方の学位が取得できる複数学位プログラムを運営していくことで合意、協定書を交わした。ICT人材を育成。(12面)

2011年

1月1日(土)

■アジアとともに成長
日本経団連会長・米倉弘昌氏

「アジアとともに成長する」。われわれ産業界のノウハウや考え方を活用していただき、お互い切磋琢磨する形で協同関係を構築することは必ずできると信じています。(新春対談=14・15面)

1月4日(火)

■まずトルコ原発に照準
経済産業相・大畠章宏氏(当時)

経済産業省が推進するシステム輸出の最初の目標をトルコの原子力発電所受注に絞る。アフリカや中南米にも出る考え。中小企業には「日本だけで満足してはいけない」と訴えた。(1面)

■建機の需要、新興国で急増
中国・インドネシア中心

建設機械メーカーの業績が中国、インドネシアを中心とした新興国の伸びでV字回復している。国内首位のコマツと2位の日立建機の今期は売上高が20%以上、営業利益が同2倍以上。(8面)

1月5日(水)

■エルピーダ、台湾に再接近
地場メーカーと提携/経営統合も

エルピーダメモリが台湾メーカーに再接近している。2010年12月下旬に地場メーカーと新たな技術提携を締結。年明け以降、台湾半導体メーカーと経営統合も視野に入れた交渉を本格化。(10面)

■アジア取り込み競争力
中小企業庁長官・高原一郎氏

中小企業も新しい経済のパラダイムに入る。アジア諸国の需要を取り込みつつ、競争力強化が重要になる。これまでやってきた中小企業も多いが、海外展開を自然に考える状況に。(27面)



米倉経団連会長(1日付)



高原企業庁長官(5日付)



大畠経産相(当時=4日付)

1月6日(木)

■人工衛星、モンゴルに売り込み
レアアース探査もセッ/官民合同

政府は、地球観測や通信用の人工衛星を売り込むため、モンゴルとカンボジアへ合同ミッションを派遣する。NECや三菱重工工業などが参加。レアアースなどの探査協力も提案。(2面)

■カプロラクタム値上げ
宇部興産/最高値2950ドル

宇部興産は、ナイロン樹脂などの原料・カプロラクタムの1月のアジア向け価格を最高となる1トン=2950ドル以上でユーザと交渉に入った。アジアでは自動車や家電が好調で需要は旺盛。(1面)

1月7日(金)

■ゼネコン準大手、新興国を攻略
フジタ・戸田建・飛鳥建

準大手・中堅ゼネコンが2011年度以降、新興国で事業拡大に乗り出す。フジタは中国で工場保守を受託。戸田建設は東南アジア統括拠点を検討。飛鳥建設はASEANに照準。(1面)

■東証、韓国企業を上場
年内に1—2社誘致

東京証券取引所は、2011年中に韓国の企業を上場させる。数社が上場の意向を示しており、早ければ年内に1—2社の上場を見込む。アジアのメインマーケットとして存在感を高める。(17面)

1月10日(月)

■韓国、対中F T A効果最高
対米・対EUより輸出上回る

韓国と中国がFTAを結んだ場合、対EU、対米よりも韓国の輸出は伸びる